

平成26年度第1回流山市通学区域審議会会議録

- 1 日 時 平成26年5月30日（金）  
午前9時28分～11時15分
- 2 場 所 流山市ケアセンター 第1研修室
- 3 出席委員 長岡委員、井上委員、山本委員、杉浦委員、長倉委員、  
鈴木委員、酒巻委員、平手委員、志垣委員、藤野委員、  
塚平委員、高木委員
- 4 欠席委員 村上委員、石井委員
- 5 事務局 後田教育長  
鈴木学校教育部長  
田村学校教育部次長兼学校教育課長  
学校教育課 中野課長補佐、宮田係長、下出主事
- 6 議 題 (1) 小中学校併設校及び小山小学校の通学区域について  
(2) 流山北小学校の通学区域について
- 7 傍聴人 なし

(杉浦会長)

ただいまから、平成26年度第1回流山市通学区域審議会を開催いたします。はじめに、鈴木学校教育部長から御挨拶をいただきます。

《鈴木学校教育部長あいさつ》

(杉浦会長)

ありがとうございました。平成26年4月1日付けで、新たに塚平委員が委嘱されましたので塚平委員を紹介いたします。

(塚平委員)

小山地区社会福祉協議会の会長の塚平です。私たちの区域は、小山小学校の通学区域で、子ども達を朝夕に送り迎えをしております。小中併設校に通学区域が変わることになり、地元でも、いろいろ話題がのぼっております。スムーズにまとまればと期待しております。よろしく願いします。

(杉浦会長)

続きまして、平成26年4月1日付けの人事異動により教育委員会事務局の職員が変わっておりますので自己紹介をお願いします。

<鈴木部長> (よろしく願いします。)

<田村次長> (よろしく願いします。)

<宮田係長> (よろしく願いします。)

(杉浦会長)

次に会議の成立について御報告申し上げます。本日の会議は委員14名中12名の出席、2名の欠席となっておりますので、委員の半数以上の出席ですので、流山市通学区域審議会条例第6条第2項の規定により、本会議が成立していることを御報告申し上げます。

次に、配付させていただきました資料の確認をさせていただきます。審議会次第と1から6頁、通学区域の設定について(諮問)1~8頁の資料を事前に配付させていただきましたが、不足されている方は、お申し出ください。よろしいでしょうか。

これから審議に入るわけですが、流山市教育委員会から平成26年3月5日付けで、おおたかの森小学校及びおおたかの森中学校の通学区域

を設定すること並びに小山小学校及び常盤松中学校の通学区域を変更することについて諮問がありました。諮問文については、委員の皆さんには、事前に配付させていただきました。諮問事項について後ほど、委員の方々の御意見を伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議題1「小中学校併設校及び小山小学校の通学区域について」事務局から説明をお願いします。

(中野課長補佐)

学校教育課の中野です。よろしくお願いいたします。

(1) 小中学校併設校及び小山小学校の通学区域について御説明いたします。

3月5日の通学区域審議会で、平成24年度に答申をいただきました小山小学校の通学区域における児童数の増加により、見直し案について御説明させていただきました。その後、小山小学校の保護者や見直し区域の住民の方々に見直し案や見直しになった理由等について、3月15日(123人)、5月24日(57人)に説明会を開催しました。保護者等の意見や質問等については、後程、田村次長から報告させていただきます。

3月5日の審議会でも御説明いたしましたが、0歳児が推計により大幅に急増しております。

平成25年度の0歳児(平成24年4月2日から平成25年4月1日生まれ)が、251人、更に、平成26年度の0歳児(平成25年4月2日から平成26年4月1日生まれ)が289人となっています。

このような状況から再度、平成26年4月1日現在の住民基本台帳の登録者を基に、平成23年、24年、25年に建った戸建て住宅、マンション等の児童出現率を算出し、今後の整備面積に出現率を乗じて、今後の児童推計をいたしました。

配付資料のP4頁を御覧願います。

表の(1)は、24年度に通学区域審議会から答申を受けた通学区域の場合の小山小学校の児童推計です。

表の各字名の数字を説明いたします。平成27年度の1年生は、平成26年4月1日現在の住民基本台帳登録で、平成20年度生まれの方の数です。おたかの森小学校が開校する27年度は、750人、23教室で

す。小山小学校の26年度は968人、29教室であり、一時的に児童数は減少しますが、その後、児童数が急増します。各年度、前年の卒業生と次年度の1年生を比較しますと、27年度は6年生73人が卒業し、28年度に入学する1年生は244人です。次年度以降も97人から285人、94人から327人、135人から354人、171人から383人で、前年の6年生を大幅に上回る児童が入学するような状況が見込まれます。平成30年度には1408人で40教室を超え、32年度には1871人、52教室と推計しております。32年度までは住民基本台帳の登録者数と増加数を見込んだ数字です。平成32年度、東初石5丁目：15人、東初石6丁目：69人、十太夫95人、駒木110人で、この年代は、平成25年度生まれの年代で、入学するまでの6年間で94人が増加すると見込んだもので、児童数の大幅な増減はないと考えております。

33年度以降については、住民基本台帳に登録がなく、まだ生まれていない状況ですが、今後の宅地の整備状況から数年は増加することが見込まれます。

26年度の推計結果では、平成24年度に通学区域審議会から答申をいただきました小山小学校の通学区域は、児童数が大幅に増加し、児童の健全な学校生活や円滑な学校活動に支障が生じるような状況になることが予想されることから小山小学校の児童増加の緩和を図るため通学区域を見直しすることとしました。

小山小学校の見直し案について、御説明いたします。

配付資料のP1頁を御覧願います。

3月5日の審議会でお示しした案と同様です。

東武野田線西側の「西初石5丁目」「西初石6丁目」「市野谷」は、おおたかの森小学校とし、東武野田線東側の商業地を「おおたかの森小学校」の区域に見直しをしたいと考えております。

駒木の一部、十太夫の一部を小山小学校に変更する予定でしたが、児童数が大幅に増加することが見込まれることから、駒木の一部、十太夫の一部は現状のとおりとしました。

なぜ、東初石6丁目等の商業地を「おおたかの森小学校」にするのかについては、「おおたかの森小学校に隣接している」「同地域をおおたかの森小学校に見直すことにより急増している児童数の緩和が図られる」

「さらに、中学校はおおたかの森中学校の区域であることから、小中一貫教育の推進がより図られる」ことから考えたものです。

次に、見直し案の小山小学校の児童推計について御説明いたします。

配付資料のP4頁を御覧願います。

表の(2)は、小山小学校通学区域見直し案(商業地除く)の推計です。平成26年4月1日現在、住民基本台帳登録している0歳児から6歳児が、数年後に入学した時の数となります。

見直しをすることによりまして、児童数は若干緩和されますが、平成30年度には1156人、35教室で、住民基本台帳の登録がある32年度には1513人、43教室となり、その後も数年、増加することが見込まれます。

小山小学校は、おおたかの森小学校の開校により28年度までは、商業地の区域を含めても、教室数が不足することはないようですが、29年度からは不足することが見込まれます。29年度以降、区域を見直すことより、27年度に市野谷、西初石5,6丁目の児童と一緒におおたかの森小学校に通学し、開校から一緒に学校生活をした方が好ましいと考えたものです。なお、商業地を見直しても、32年度には1513人、43教室が見込まれ、その後、数年は児童が増加することも見込まれることから、小山小学校の児童数の緩和を図るため、商業地以外の通学区域の見直しが必要であると考えております。今後、見直しについて検討し、保護者、住民の方々に説明したいと考えております。

次に、通学路について御説明させていただきます。

商業地の児童がおおたかの森小学校に通学することになった場合、流山おおたかの森駅を横断して通学するように考えております。

おおたかの森駅は、北口、東口、西口、南口区域に分かれ、東初石6丁目等の商業地は、北口と開発の進んでいる東口区域です。東口から南口をつなぐ自由通路を横断することについて、3月15日の説明会でも保護者の方々から心配されている意見が多くありました。駅の自由通路は、通学時、東武野田線の改札からつくばエクスプレスの改札に多くの方々が移動し、そこを歩いて、児童が通学することは危険な状況です。そこで、駅を横断する通学路としましては、北口から階段を上り、西口の階段を下りるものです。現在、西初石5丁目の児童が小山小学校に通

学している経路の逆を考えております。西口階段を下り、左手に向かう地上通路で、そこから、南口広場へ出ます。安全を第一に考え、南口広場を通り、交番前を通過し、豊四季と初石を結ぶ道路「東深井市野谷線」を初石方面に向かい、つくばエクスプレス線を越え、次の信号を渡って、おおたかの森小学校に向かう通学路としたものです。商業地の児童が、おおたかの森小学校には約20分位の時間が、低学年の1年生は、それより若干、時間がかかることが予想されますが、安全面を考えた経路としたものです。

次に、おおたかの森小学校の通学区域について御説明させていただきます。P2頁を御覧願います。

3月5日の審議会でお示した区域と同様です。

変更箇所としては、東武野田線東側の商業地（東初石5丁目の一部、6丁目の一部、十太夫の一部）を「小山小学校」から「おおたかの森小学校」に変更するものです。

この商業地をおおたかの森小学校の通学区域にすることによりまして、児童数、教室数は、27年度は、604人、19教室、平成32年度に1275人、38教室となると見込んでおります。

次に、おおたかの森中学校の通学区域について御説明いたします。P3頁を御覧願います。

3月5日の審議会でお示した区域と同様です。変更箇所としては、東武野田線の東側について、つくばエクスプレス線の北側を常盤松中学校、南側をおおたかの森中学校としておりましたが、北側の商業地をおおたかの森中学校の通学区域にするものです。見直した理由は、小学校の区域をおおたかの森小学校に見直しをしたことにより、小中一貫教育のより推進を図るため、おおたかの森中学校に通学した方が好ましいと判断したものです。

商業地をおおたかの森中学校にすることにより、生徒数は大幅に増加することはないようです。27年度は、246人、9教室、32年度は、544人、16教室を見込んでおります。

以上で、説明を終了いたします。よろしく御審議を賜りますようお願いいたします。

(田村次長)

私から、小山小学校通学区域説明会について御報告いたします。第1回目の説明会を3月15日に開催させて頂き、第2回目は5月24日に開催いたしました。5月24日は57名の地域の方の出席を頂き、説明会では、いま皆様に御説明した新たな推計結果を説明した後、前回の説明会(3月14日)の時に質問があった点・不明であった点の①通学路の設定とその安全対策について ②おおたかの森小中併設校の概要について ③おおたかの森小中併設校における学童保育の保育時間の問題の3点について、現在の状況と学校教育課としての改善点について御説明させて頂きました。

また、卒業を間際にした児童の保護者の皆様の要望も多いため、代替案として「平成27年度、平成28年度の2年間に限っては、商業地域の方々の小山小学校への指定校変更を認める」という案を示して、改めて「東武野田線東側の商業地区」をおおたかの森小中併設校へ学区変更することについてお願いいたしました。

参加された市民の方々の意見は

「現在の学校より遠い学校に通学させるのだから市としての対策を立ててほしい。例：バス通学」

「住民の意見を直接市政に伝える場はないのか。」

「開発状況や住民の増加状況に合わせ計画的に見通しを持った方針を示すべきである。」

「小山小学校状況はわかるが一部の住民に負担を負わせるのはおかしい。」

「小山小学校の増築計画は、どうなっているか。」

「小山小学校の正式な学区はいつ決定するのか。」

「小山小学校のその他の地区についての見直しはどうなるのか。」

「おおたかの森小中併設校の児童推計はどうなっているのか。また、学童保育の受け入れ可能人数は60人で間に合うのか。」

「小学校の問題ばかりではなく、子供の遊び場など子育て全体を考えた施策をするべきである。」

「推計の試算の根拠を示してほしい。」等の御意見をいただき、現時点で回答できる事に対して誠実にお答えいたしました。

以上で説明会の報告を終わらせていただきます。

(杉浦会長)

ただ今、事務局から大きな柱として2点説明がありました。「新設校と小山小学校の学区の界について、東武線の小山小側の商業地を、当初に示された案のとおり、再度、皆さんに提案したい」が1点。もう1点が、その間に開催された説明会での内容及び参加された方の意見が1点です。この会として答申を作成するわけですが、御意見をお願いします。

(鈴木委員)

通学区域の変更について、私は、24年度に委員をしており、その当時、安心安全を大前提で、鉄道を界にすることが一番いいとなりました。今日の説明を受け、社会増により児童が増えたことを聞くと、我々も、教育委員会も読めなかったということで、このような提案があったわけです。想像以上であり、どうにもできないのかと、私は感じを受けました。今回の変更は原因が社会増ということもありますので、やむを得ないと思います。今回の案が妥当だと思います。次長から説明会の報告がありましたが、住民の意見をできるだけ対応していただければ、住民の方々は安心して、説明会を実施してよかったと言われれば、大変、うれしいと思います。

(長岡委員)

西口のロータリーの整備は、いつ頃、工事は終了するのか。

(中野課長補佐)

28年度中には、整備が終了すると思います。

(長岡委員)

子ども達は、27年度から通学する。どのようにして、通学の安全を考えていくか。地域の方々が、通学時間帯に安全に誘導できるかと思う。

(田村次長)

西口が整備されれば、近くで安全で通学できると思いますが。お示した案で、通勤者は多くありません。遠回りになりますが、安全面では、それほど問題はないと考えております。現在、小山小学校では、基本的には、集団登校を実施しております。出来たら、学校教育課としては、集団登校の組織を作って、やっていきたいと考えております。

(井上委員)

下校の時間帯も問題があると思う。登校時は、通勤の方もいますが、下校時は、暗くて、通行人も少ないので、危険性はどのなのでしょう。その辺も調べたのでしょうか。

(田村次長)

小学校は、下校時間が早めになっており、早い学年は2時40分頃です。暗さの問題は、それほどないと思います。逆に、西口は閑散としているところがあり、若干、心配される場所です。今後、自治会や保護者の協力を得ながら、組織を作る必要があると思います。

(井上委員)

駅の中には、交番はないので、TXの下を通ることに危険を感じ、逃げ場があるといいと思う。

(高木委員)

通学路は、登下校とも同一ですか。

(田村次長)

基本的に一緒です。

(長岡委員)

線路の脇は、歩行者は通れますが。

(田村次長)

その道の方が近いです。西口は行き止まりになっており、車は、Uターンして通る道はありますが、そこが、歩道が設定されてなく横断歩道がありません。線路とマンションの間の道であり、暗い場所だったり、子どもが連れ込まれることを考えた時、交番の方を回った方が安全であることから考えたものです。

(長岡委員)

アネックスができたので、駐車場の出入りが多い。現在、新1年生の指導をしており大変です。地域の方の協力体制があれば。

(塚平委員)

西初石5丁目自治会は、確実に朝は一緒に行きます。帰りは、1、2年生中心に対応します。27、28年度に、小山小学校への通学を申出があれば残ることができるとなると、小山小、おたかの森小の両方はできない。ボランティアがそれほどいないので、片方しかできない。

(田村次長)

選択できるのは、商業地の方だけです。

他の学校にも1年生の問題を抱えております。子ども達の状況を踏まえて、指導し、保護者の協力をいただき、安全を最優先に考えて参ります。

(長岡委員)

1年生の場合、小山小学校は、ある程度の場所にまとまってお母さんに子どもを渡し、八木北小学校は、近くまで送り、自分で家に入る。新1年生の対応について小学校によって対応が違っており、我々も協力しますので、自治会の方々の協力をお願いしたい。西口は、工事車両がロータリーに来ます。工事の関係で道路も変わります。その安全面を考えられれば、変更もやむを得ないと思いますが。

(杉浦会長)

すべてが安全で、近くて、見守りが常にいて、確かにその状態があればいいと思いますが、現実には、出来る範囲で、自治会、保護者の協力にしてもらっています。

(志垣委員)

新設校に限らず、新年度を迎える時に、新1年生の登下校について、学校側で、担任等の先生が途中まで集団で送り、それぞれ自宅に行くように。自然に、徐々に指導しながら子ども達も慣れながらきていると思う。今回も、道路が整備されていない所もあると思いますが、整備も3年もかかるわけもないと思うので、1、2年は、学校の父兄の校外班や地域のボランティア等の手を借りながら、なんとか互いに支えながら、乗り切れないかと思います。

(山本委員)

現在の小山小学校の状況からは通学区域は変更しなければならないと思う。50を超える教室となれば、授業に支障もでるのでは。来年4月、おおたかの森小学校が開校と同時に移った方がいいのでは。途中から移るのも大変だと思う。安全面については、教育委員会で考えていただき、地元のボランティアや保護者が対応していただければと思います。安全面を検討していただき、変更はやむを得ないと思います。

(鈴木部長)

私も、以前、小山小学校の校長を務めました。開発が進み、朝来た道が帰りは、通れなくなったことがありました。そのような時は、事前に保護者の方々の協力を得て、URも立ち会いのもと、子ども達を連れて、ここを通ることの予行練習をしました。おおたかの森の区画整理区域内は、道路が未整備な箇所があることから、PTA、地域の方々の協力はどうしても不可欠だと思います。第1は、保護者の協力だと思います。小山小学校では、地区委員が当番制でしておりますが、それが負担という声もありますが、地域性を考えると数年はお願いしたいと思います。街が安定した頃に、他の小学校と同様に教職員が下校時の対応をするようになればと思います。教育委員会としても、呼びかけながら子ども達の安全を確保したいと思います。

(長岡委員)

見直し案には、賛成です。学校の先生が新年度始まった時に、新任の地域の先生が帰り道を知らない先生がいます。先生達に通学路を歩いてもらって、地域を知ってほしい。

(杉浦会長)

教職員が新しい学校に着任するのが4月1日です。始業式が5日前後、入学式が10日前後ですが、その間で出来るだけ、学校でやるべきだと思います。

(志垣委員)

自宅から学校までの通学路は、どこでも通っていいわけではないと思います。事故があった時に、通学路を通っていたか、外れていたかによっては、保険の対応が違ってくると聞いたこともありますので、その辺も含めてお願いします。

(山本委員)

おおたかの森小学校は、小山小学校のように児童数がならないようにしてほしい。

(塚平委員)

運動場が狭くなる。小山小学校も10数教室を増やすとなると、どこに増築するのとなります。併設校も、空き地が多くあるとは思わないので、上に増築できるようにするとか対策が必要で、区画整理内は、若い

世代が増えれば、子どもが増えますので、その辺の計算は、しっかりしてほしい。

(杉浦会長)

教育委員会もしっかり受け止めてほしい。

委員のお話を聞いていますと、通学区域を見直すことについては、仕方がないということのようです。御心配していただいている通学路の安全面について、答申の附帯意見を付して、原案どおり答申することはいかがでしょうか。

(委員) <異議なし>

(杉浦会長)

皆さん、異議なしということですので、答申案を作成しますので、暫時休憩します。

<休憩>

(杉浦会長)

会議を再開します。事務局には答申案を配付願います。

<答申案配付>

(杉浦会長) <答申案を朗読する。>

(杉浦会長)

ただ今、朗読しました答申案でよろしいでしょうか。

(委員) <異議なしの声あり>

(杉浦会長)

異議なしとのことですので、答申書を準備しますので、暫時休憩します。

<休憩>

(杉浦会長)

会議を再開します。答申書を交付します。

<会長が答申書を読み上げ、教育長に答申書を交付した。>

<教育長謝辞>

(杉浦会長)

次に、議題2「流山北小学校の通学区域について」事務局から説明をお願いします。

(中野課長補佐)

(2) 流山北小学校の通学区域について御説明いたします。

配付資料の6頁を御覧願います。

流山消防署から流山警察署に向かう道路の左側に、和田堀という河川があります。この地域は、平成19年9月22日に字の区域及び名称の変更が実施した区域です。変更前は、和田堀を挟んで、下花輪と三輪野山が存在し、字界「下花輪と三輪野山」と通学区域界「流山北小学校と西初石小学校」及び「南部中学校と西初石中学校」が同じでありました。町名変更後は、字界は和田堀を界として、下花輪と三輪野山五丁目となりましたが、通学区域はそのままとしたため、例えば、流山北小学校の通学区域が和田堀を挟んで存在している状況です。

通学区域についても、和田堀を界にした方が分かりやすく、好ましいことから変更したいと考えております。P6頁の右下の通学区域の地番の土地は、道路等の公共用地で、民地でない状況で、住んでいる方はおりません。軽微の変更であり、審議会に諮問するまでの案件ではないことから、今後、おおたかの森小学校、中学校の通学区域の設定や近隣校の通学区域の変更に合わせて、変更したいと思います。

以上で、説明を終了いたします。

(杉浦会長)

御質問、御確認することはありますか。子どもの異動もなく、より分かりやすくということで、諮問答申ではなく、変更したいということです。

(各委員)

<了承>

(杉浦会長)

その他で、事務局で何かありましたらお願いします。

(田村次長)

小山小学校の通学区域は、児童が増加している状況から、東初石6丁目等の商業地をおおたかの森小学校に変更しても、平成29年度以降、教室数が不足することが見込まれています。平成28年度までに増築をする計画です。26年度、27年度の上半期には、設計業務を実施し、27年度下半期、28年度に建設工事をする計画を考えております。増築に関して市議会へ説明し、理解を得たいと考えております。増築の根拠となる小山小学校の児童数、教室数を今後作成し、提示し、説明していかなければいけない状況の中で、場合によっては、審議会の委員の方々に御審議していただく前に、小山小学校の通学区域の変更案として考えていかなければいけない現状があります。市議会へ提示する時に、審議会委員の方々に郵送により資料を送付いたします。また、次回の審議会において資料の御説明をさせていただきたいと思っておりますので、御了承願いたいと思っております。

(杉浦会長)

市議会へ提示する時と同時に委員の方々に資料が送付され、審議会で審議することですが。

(各委員) <了承>

(杉浦会長)

その他にないようでしたら、審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。